

4 機械・輸送工学の研究トピックスーやさしい解説と施設見学ー

機械・輸送工学に関わる研究トピックスは無数にあります。本講座では、広島大学で研究開発が行われている、ロボットの仕組みと制御、船の安全航行、板材成形技術、水素製造技術について、講師陣によりやさしく解説していただくと共に、活用されている施設を見学していただきます。

会場	対面：広島大学東広島キャンパス 工学部102講義室 ※コロナの感染状況により中止にすることがあります。
時間	①9:55~10:00 ②10:00~11:00 ③11:00~12:00 ④13:00~14:00 ⑤14:00~15:00 ⑥15:10~16:30
定員	対面：45名
対象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 9/9 (金) ※定員に達しなければ11/2 (水) (必着) まで先着順で受付

ガイダンス

第1回 11/12 (土) 9:55~10:00	講師：先進理工系科学研究科 准教授 田中 義和 本公開講座の概要と実施要領の説明を行います。
--------------------------------	---

ロボットの「動き」を理解・設計する

第2回 11/12 (土) 10:00~11:00	講師：先進理工系科学研究科 助教 村松 久圭 ロボットはどのように動くのか？産業と社会を支える、ロボットの仕組みと制御、そして研究について紹介します。
---------------------------------	--

制限水域を走る船を取り巻く諸問題

第3回 11/12 (土) 11:00~12:00	講師：先進理工系科学研究科 准教授 佐野 将昭 2021年3月、巨大なコンテナ船がスエズ運河で座礁しました。大海原を走るイメージが強い船ですが、運河や港湾では、船の大きさに対してミスマッチな制限水域の航行を強いられます。運動の観点から、船の安全航行に関わる諸問題を紹介します。
---------------------------------	---

板材成形技術に関する研究トピックス—プレス成形と多品種少量逐次成形—

第4回

11/12 (土)

13:00~14:00

講師：先進理工系科学研究科 准教授 日野 隆太郎

自動車部品や飲料缶など、金属薄板の成形加工品はたくさんあります。本講座では自動車車体に多用される高強度鋼板のプレス成形に関する技術課題のトピックスからインクリメンタルフォーミングと呼ばれる新たな多品種少量成形技術まで、わかりやすく紹介します。

エネルギー変換および貯蔵技術の研究開発

第5回

11/12 (土)

14:00~15:00

講師：先進理工系科学研究科 教授 市川 貴之

カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギー（再エネ）の利用がますます求められています。しかし、変動する再エネをうまく利用するためには、電気をバッテリーでためたり、水素に変換したりする必要があります。このような技術について最先端の動向を紹介します。

施設見学

第6回

11/12 (土)

15:10~16:30

講師：各講師

ロボット研究施設（D3棟ほか）、曳航水槽（G3棟）、板材成形技術（G4棟）、水素製造に関する基礎実験設備（A3-022）（4施設×20分）

講座内容に関する
お問い合わせ先

工学系総括支援室（学士課程担当）**電話：082-424-7520****メール kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp**